

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
 労働会館東館3F
 TEL 052-871-5433
 FAX 052-871-5618
 URL http://www.airoren.gr.jp
 発行人 樽松佐一
 第99号 2001年9月20日

秋の主なとりくみ

労基法周知・徹底月間——10月
 働くルール確立10.3統一行動——10月3日
 自治体キャラバン——10月16日～19日
 全労連全国キャラバン愛知入り——10月12日～13日
 国民大集会——10月23日
 怒りの霞ヶ関中央行動——10月24日
 秋の組織拡大月間——10月15日～12月15日
 全労連第3回全国討論集会——11月8日～10日



内部留保8兆円

NTTが10万人リスト

小泉流「構造改革」のNTT版

許せない！50歳定年 賃金カットで再雇用

「手取りは三十万円そこそこ。子どもたちの学費と借金の返済で今でもギリギリの生活なのに、二五%カットなんてされて、もうやっていけない」と語るのは、NTT西日本名古屋東支店に働く丸山栄一さん（五七歳）。

いま、NTTは政府の肝いりで「三カ年経営計画」を発表し、NTTグループ全体で十万人の労働者を削減する合理化を提示しています。NTTの中心的業務である一六電話受付、一三故障受付、料金業務などを子会社化し、そこに五十歳以上の社員をいったん退職させ、賃金を二割三割カットして再雇用するというものです。

「NO」と言えばつぶせる

「今回の会社のやり方には弱点があるんです」と語るのは、NTT西日本東海電報営業支店に働く大塚進さん（五九歳）。

今回の計画で、五十歳以上の人たちに選択が迫られるのは、大きくは二つの道で、退職し賃金カットで再雇用の道を選ぶか、広域配転や職種転換を迫られるがNTTに残る道で、「本人の希望で選択しない」として拒否する。

働くルール署名本格的におくれた実態知らせれば気軽にサイン

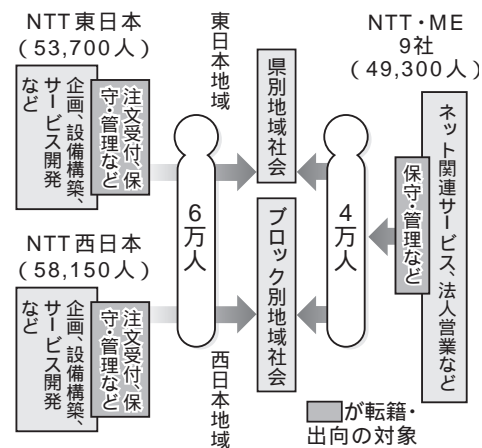
愛労連第二十五回定期大会で、働くルール署名が提起されて二カ月が経ちます。各組合では、三年度で愛知の労働者の過半数突破を視野に、職場と地域に影響力を与える数を目標にした議論と取り組みの具体化が始まっています。

労働条件の改善 父母とともに

建交労字輩保育支部は九月三日、学習会を支部の執行部や分会の分会長・書記長を対象に四十五名の参加で開催し、「知らないことがいっぱいあることに気がつきました。もっと多くの仲間にもひろめたい」と感想が寄せられています。

この職場でも労働条件が切りつめられているなか

50歳で『ポイ』はルール違反



NTT10万人リスト計画

公務員制度改革シンプに106人

愛労連と公務員制度改革阻止共同会議は9月7日、名古屋市中区の名古屋市女性会館ホールで公務員制度改革を考えるシンポジウムを開催し、民間組合からの参加を含め百六人が参加しました。

主催者あいさつにたったのは、「これまで勝ちとってきた働くものの権利が大変な勢いで後退させられようとしているが、今回の公務員制度改革もこうした攻撃と一体のものだ」「公務も民間も共同し、働くルールを確立する



運動をさらに強めよう」と訴えました。

シンポジウムでは、小田川義和さん（国公務連書記長）、村田和穂さん（通信労組愛知支部前委員長）、大平敬也さん（JMIU愛知地本書記長）の三氏を迎え、公務員制度改革の内容と問題点や民間職場での新人事制度導入の実態などが報告されました。公務員制度改革の狙いについて小田川氏は、「人事管理の民間化として競争主義や成果主義がもち込まれようとしており、国家公務員が憲法に定められた、国民全体の奉仕者から政府の奉仕者へと変えられようとしている」と強調しました。

最低賃金のお知らせ

愛知県最低賃金が以下のように決定。
 県下で働くすべての人に10月1日から適用。

日額	5,447円
時間額	681円

あまりにひどい実態ゆるせない

プラスチック整形工場で働き、地域労組きずなに加える森清さん（七二歳）



きずなの森清さん

は、すでに一人で二百筆を超える署名を集めて奮闘しています。

森さんは以前、万博県民投票署名で百八十筆を集めたそう、「今回の署名は印鑑もいらんし、集めやすいから万博署名の倍は集めたい」と働くルール署名に自分の目標を持ってとりくみを持ち語られました。

働くルール署名11月末までに組合員の2倍11万人を突破しよう

全印総連東海共同印刷労組では、署名のとりくみに勢いをつけようと、八月二十五、二十六日の両日、瑞穂区でおこなわれた瑞穂親

夏まつりで スタートダッシュ

で、子どもを預けている父母も大変になっており、そうした実態が学童保育職場にも持ち込まれてきています。民間の学童保育は、経営や運営を子どもを預ける父母も一緒になってすすめています。父母自身が組合もなく無権利状態のなかにあるため、世間ではあたりまえと、パートへの有給休暇が認められていないが、週四十時間労働が守られていなかったり、サ

戦争の準備ゆるすな

米海軍ゲイリイが名古屋港に接岸



潜水艦探査ソナーの空ケースまでボーイ!

八月二十八日から三十一日にかけて、米海軍のミサイルフリゲート艦ゲイリイが名古屋港ガーデン埠頭に接岸しました。米軍艦が名古屋港に接岸するのは二十四年ぶりのことです。今回の入港について、七十二時間の連続監視行動を実施した愛知県平和委員会の坂本敏彦さん(名古屋市内職労住宅都市局支部)に伺いました。

監視行動とおして何が明らかに

ゲイリイ寄港について、米領事館は「名古屋及び周辺地域を訪問」「米艦船を見学していただく」としました。日米新ガイドラインのもとで日本政府がアメリカの要請に心えて、アメリカの戦争に、どのよう協力するのかが具体化するの目的だったと思えます。今回の接岸・停泊で、名古屋は協力を拒否しましたが、かわりに民間業者が動員されました。米軍は、名古屋港の水深調査と同時に、タグボートなどの支援体制、ゴミやし尿の処理、食料や水の補給、警察の対応、兵士の休養に必要な盛り場、住民の反応などについても徹底的に調査しました。これまで、米軍の港湾報告書に名古屋港のデータはありませんでしたが、今回の寄港で「使いたい港」から「使える港」にされたのでは...



監視行動をする坂本さん(左から2番目)

アメリカへのテロ事件にかかわって

どんな理由があろうともテロは絶対に許せない行為です。しかし心配なのは、怒りに流され報復攻撃があたりまえのように言われていることです。武力による報復は新たなテロを生むだけ、支援すれば日本もテロの対象になります。政府は、テロに乗じて自衛隊法の改悪を進めようとしています。こうした動きも注視しなければなりません。

阿部さんごろうさま ありがとうございます



愛労連と全労連・全国一般愛知地方本部は八月二十二日、名古屋市熱田区の労働会館ホールで、前愛労連議長で現在は愛労連顧問の阿部精六さんを励ますつどいを開きました。つどいには、全労連議長の小林洋二さんをはじめ、約百九十名のみなさんが出席しました。

阿部さんは、「みなさんの励ましの中で四十三年間、労働運動を続けてこれてきました。このなかで育まれた友情と連帯、すばらしい仲間との出会いは、私の最大の誇りであり喜びです」とあいさつしました。

出会う・話し合う・ながまづく

東海6県の青年がサマーセミナー

九月十四日から行われた第十回サマーセミナー。今年度は全労連東海・北陸ブロックの青年交流会と合同で開催しました。富山県からは「夜十二時に出発、七時間かけて来ました」と五名の参加、静岡県からも三名など六県の青年が交流しました。

一日目は関西勤労協の田進先生の講演と全体討論を行いました。二日目の午前中はグループに分かれて

レクリエーション、午後は分科会。静岡の青年が報告した「超常現象のヒミツ」は「私、来年もこの分科会にでるわ」と好評でした。班別討論のテーマは「何でも話し合える青年部」。何で話し合えるって言うけど、私は最初、何を話していいかわからなくて全然しゃべれなかった。でも聞いてるだけでもよかったわ。みんなの話を聞いていて、あんな感じで話せばいいんだってわかってきて、今は友達にも話せるようになった」という福保の兼田さん。



報告する富山の酒井さん(左側)と山本さん

公正任命を 連合独占を改め

地労委民主化会議が3氏の推薦を決定

第三六期愛知地方労働委員会の委員任命は十二月に行われます。今回は、三氏を推薦することを地労委民主化会議として決定しました。知事は、依然として連合を気にしており世論を上げることが重要になってくるも、昨年からとくんでいる公正任命を求める署名を十月中旬までに大きく広げようと呼びかけています。

見崎徳弘さん
愛労連議長

地労委の主人公は、救済を求める労働者ですが、申し立ての大半は非連合。連合独占は不合理です。労働者の苦悩がわかる委員として頑張る決意です。

小松民子さん
愛労連副議長(医労連)

白木屋、ニチメンと勝利が続く、さらに「泣き寝入りしない」と女性が立ち上がっています。思いをしつかり受け止め共に歩む労働者委員に挑戦します。

田中洋行さん
全港湾名古屋支部書記長

「たかひは職場から」を文字通りすめていくためには、労働者委員の役割は重要です。利用しやすい、地方労働委員会をめざしてがんばります。



フランス・ポルドーの地区協議会のみなさんと(後列右側が見崎さん)

新たに思いを許すリスト

ダイムラー経営評議会やIGメタル労組とも懇談

愛労連議長 見崎 徳弘

代表に正式に会うのは初めてのことと聞いたが、三菱自動車の現状やルノーによる日産リストラの実態報告には強い関心を示し「労働組合はどうしているのか」「日本の情報は不足している。もっと知りたい」と意欲的な質問を続け、「労働者を守る国際連帯のために、強引なりストラに歯止めを」とする要請を正面から受け止めて、経営者にきちんとものを言つと約束した。

理不尽な企業リストラと労働組合の責任 フランス・ポルドーの地区協議会(県労連)との交流でも痛感したが、日本の実態はヨーロッパの労働者にあまり伝わっておらず、伝えると「労働組合は何をしている?」と必ず質問がくる。労働組合が労働者の悩みや要求を取り上げ、労使協議会で国際会議でもきちんともを言つ状態にあれば、理不尽なリストラには必ず歯止めがかかる。大江工場の閉鎖は目だが、このことを三菱の労働者にも伝え、「身勝手なリストラ反対」へと、思いを新たにしたヨーロッパ訪問だった。

ブレイメンでの日独共同セミナー

九月三・四日、ブレイメン大学労働問題研究所を会場に、今年で六回目になる「日独労働問題共同セミナー」が開かれ、日本側から七名が参加した。セミナーでは双方の研究者や労働者が、最新のIT革命や地球規模的な投資資本の世界戦略の下で企業のある方や労働現場が大きく変化している実態を出し合い、労働組合や行政の役割について突っ込んだ討議をした。ドイツ側の報告では、ダイムラー本社などもトヨタのカンバン方式や「カイゼン」などの生産方式を取り入れたが、それでも、強力な労働組合を背景にした「経営評議会」が労働者保護に必要なチェックをきちんとかけている実態が示された。

経営評議会やIGメタル労組との懇談も実現

セミナーの後、ドイツの研究者の力でダイムラーの工場見学や経営評議会との懇談が実現し、フランクフルトでIGメタル労組幹部との懇談もできた。いずれも全労連系の代表に正式に会うのは初めてのことと聞いたが、三菱自動車の現状やルノーによる日産リストラの実態報告には強い関心を示し「労働組合はどうしているのか」「日本の情報は不足している。もっと知りたい」と意欲的な質問を続け、「労働者を守る国際連帯のために、強引なりストラに歯止めを」とする要請を正面から受け止めて、経営者にきちんとものを言つと約束した。